

カモシカ通信



7/4~7/8にかけての梅雨前線による記録的な豪雨は、西日本の各地に甚大な被害をもたらしました。遠山地域におきましても、飯田市南信濃森山において、最大累加雨量580mmを記録し、観測史上最大規模の降雨でしたが、幸いにも大きな被害はありませんでした。被災しました西日本各地の1日も早い復旧を願っています。

今月のカモシカ通信は、6/28に飯田市上村小学校の生徒さんを対象に実施しました、防災学習・現場見学会について、ご紹介します。

工事現場体験 上村小学校 現場見学会を実施しました！

「土砂災害防止月間」である6月に、事業内容の周知と防災知識の普及を目的に開催しています。

まず教室で、砂防学習用のDVDを使って砂防事業について学習を行いました。この中では、皆さんが住んでいる伊那谷地域が地質、地形的に土砂災害の起きやすい場所で、昭和36年の大雨では三六災害と呼ばれる大きな災害があったこと。また、このような被害を防ぐため、砂防事業が進められおり、土砂災害を防いでいることを学習しました。

参加した皆さんからは、上村で起きた地震や土石流による被害、砂防堰堤の数や、完成までの期間などについて、質問がありました。この他、飯田市の防災ハザードマップで、上村小学校や自分の家がどのような場所になるのかを、確認しました。

砂防、防災の学習風景



現場体験では、平成22年7月に起こったツベタ沢の土砂災害の状況や工事内容・進捗状況について説明を行った後、バックホウ、高所作業車の重機体験、ドローン操作体験を行いました。

重機体験では、バックホウの運転席で操作方法を教してもらったり、高所作業車を使って工事現場を見学したりしました。また、ドローン操作体験では、無線機でドローンを操作したり、写真を撮影しました。

普段は、中々体験できないことであり、緊張しつつも楽しく体験している様子でした。現場見学の最後には、全員で、ドローンからの記念写真を撮りました。

ツベタ沢砂防堰堤工事 内容説明



高所作業車 乗車体験

バックホウ 操作体験



高所作業車 乗車体験



ドローン 操作体験



全員での記念撮影

※参加した皆さんの声

- ・『現場でいろんな体験ができ楽しかった！』
- ・『災害の怖さもわかり、防災の大切さが理解できた！』
- ・『大きなバックホウに乗ることができて良かった！』

また、校長先生からは、『自分たちが中央構造線という土砂災害が起きやすい場所に住んでいることや、多くの人が事業に関わっていて、防災に取り組んでいる事がわかりましたね！』との感想を頂きました。

